

3月6日（金）臨時記者会見

## 市長冒頭説明

このたび、市内で初めて、新型コロナウイルス感染症の患者が確認されましたのでお知らせします。

この方は、市内在住の40代、女性、職業は会社員です。

本人によりますと、最近の海外渡航歴や肺炎患者との明確な接触はないとのことですが、2月23日に、これまでに新型コロナウイルス感染症患者の発生が報告されている、大阪のライブハウス「ソープ・オペラ・クラシックス・ウメダ」に訪れたことがあるとのことです。

現在は、入院治療中ですが、症状は咳のみとのことで、落ち着いていると聞いています。

次に、判明までの経過ですが、この方は、2月23日に大阪のライブハウス「ソープ・オペラ・クラシックス・ウメダ」を利用しました。

3月2日、若干の悪寒があり、市販薬を内服しています。

3月4日頃から咳症状が現れたことから、本日、市保健所に相談があり、PCR検査を行った結果、陽性であることが判明しました。

感染経路については、これまでも大阪のライブハウスの関係者から患者が発生している状況から、当該施設を利用した際に感染した可能性があると考えているところです。

患者の行動歴等については、保健所がこれから詳細な調査を実施することになりますが、現時点の情報としましては、症状出現後の出勤状況として、3月3日・4日は通常勤務、3月5日は、15時に早退していることが分かっています。

今後、調査の結果判明した内容については、個人情報に配慮しながら、感染の拡大を防止する観点で必要と判断した情報については、改めて発信していきたいと考えています。

この新型コロナウイルス感染症は、感染しても軽症であったり、回復する例も多く、すぐに重症化するというものではありませんが、高齢の方や、基礎疾患がある方については、重症化する可能性もあるとされています。

市民の皆さまにおかれましては、国や県、市からの正確な情報を御確認いただき、引き続き季節性インフルエンザの予防と同様に、こまめな手洗いや咳エチケットなど、通常感染症対策の徹底をお願いいたします。

また、本市では、保健所に「帰国者・接触者相談センター」を設置しているほか、各区役所の保健センターでも一般的な質問について相談を受け付けていますので、ご心配な点があればご相談いただければと思います。

私からは、以上となります。